

令和元年度事故危険区間リストの概要



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

□限られた予算の中、事故対策への投資効率を最大限高めるため、本会議による意見等を踏まえ、「事故危険区間リスト」に基づく選択と集中による計画的、効率的な交通安全対策事業を実施

福岡県 事故危険区間リストに基づく交通安全対策事業の流れ

Stage 1
事故の危険性が高い区間を明確化
(事故データ、地域の声等)

Stage 2
事故危険区間リストを特定

Stage 3
事故原因に即した効果の高い
対策を立案
〔緊急性〕と〔妥当性〕

Stage 4
対策着手
(交通安全施設整備事業 1種、2種)

Stage 5
完了後の効果を評価

事故危険区間リスト公表

毎年度見直し

意見

マネジメントサイクルで改善

自治体(住民代表)からの指摘
地域からの安全性危惧の指摘

第三
者
委
員
会

福岡県道路交通環境安全推進連絡会議

必要な区間 必要な対策が 必要な区間	安全 (事故データ)	安心 (要望等)
	○事故危険箇所との整合	○対策必要性の検証
歩道整備が必要な区間	○死亡リスクが大きい ・死傷事故率 ・死傷事故件数 ・重傷事故件数	・潜在的な事故リスク (ETC2.0データ) ・事故増加箇所 等
	○要望箇所の対策必要性の検証 ・横断構成 ・利用交通量 ・歩道整備で回避可能な事故の発生状況	・通学路指定 ・周辺施設の立地状況 等
自転車利用環境 整備が必要な区間	○要望箇所の対策必要性の検証 ・自転車ネットワーク計画との整合 ・横断構成 ・利用交通量 ・自転車関連事故の発生状況	・通学路指定 ・自転車ネットワーク特性 等

福岡県内直轄国道において、効率的に交通安全事業を
進めるために優先的に実施すべき区間
事故危険区間リスト（ロングリスト）